教科名	科目名	単位数	科	学年	コース
理科	生物	2	普通	2	特進選択

1．学習の到達目標等

学習の到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
教科書・副教材	東京書籍「生物」　、東京書籍ニューアチーブ「生物」

2．学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	試験・課題・提出物等
1	4	1編生物の進化　1章生命の起源と細胞の進化 1節共通性と多様性をつなぐ進化　2節生命の誕生　3節 生物の多様性と地球環境の変化	
	5	1編生物の進化　2章遺伝子の変化と進化の仕組み 1節遺伝的変異　2節多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 3節進化の定義と自然選択による進化　4節遺伝子レベルでみる進化　5節種分化	授業のノート　問題集 中間考査
	6	1編　生物の進化　3章生物の系統と進化　1節生物の系統　2節生物の系統分類　3節霊長類のなかのヒト	
	7	4節神竟の出現と変遷	授業のノート　問題集 期末考査
2	9	2編生命現象と物質　1章細胞と物質 1節細胞を構成する成分　2節生体膜のはたらき　3節細胞の構造　4節タンパク質の構造　5節酵素として働くタンパク質　6節生命現象とタンパク質	
	10	2編生命現象と物質　2章代謝とエネルギー　1節代謝とエネルギー　2節呼吸　3節発酵　4節光合成	授業のノート　問題集 中間考査
	11	3編遺伝情報の発現と発生　1章遺伝情報とその発現 1節DNAの構造　2節DNAの複製　3節遺伝情報の流れ　4節RNAと転写	
	12	5節翻訳のしくみ　6節遺伝子情報の変化	授業のノート　問題集 期末考査
3	1	3編遺伝情報の発現と発生　2章発生と遺伝子発現 1節原核生物の遺伝子発現の調節　2節真核生物の遺伝子発現の調節　3節選択的遺伝子発現と細胞分化	
	2	4節動物の発生　5節胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 ６節発生現象と遺伝子発現の調節	
	3	7節動物の形と調節遺伝子の発現	授業のノート　問題集 期末考査

3．評価の観点

知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	生物の問題を見いだし、科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

4．学習状況の評価方法

定期試験や授業・課題への取り組みに基づき，知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度の各観点を考慮し，総合的に評価する。

5．担当者からのメッセージ

「生物基礎」の発展から、より詳しい内容を学びます。授業時数も多く、学ぶ量も多いため予習、復習を心がけましょう。問題集で理解しているかを確認します。

教科名	科目名	単位数	科	学年	コース
理科	生物	4	普通	3	特進理系

1．学習の到達目標等

学習の到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
教科書・副教材	東京書籍「生物」　、東京書籍ニューアチーブ「生物」

2．学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	試験・課題・提出物等
1	4	1編生物の進化　1章生命の起源と細胞の進化 1節共通性と多様性をつなぐ進化～3節生物の多様性と地球環境の変化	
	5	1編　2章遺伝子の変化と進化の仕組み　　1節遺伝的変異～5節種分化 1編　3章生物の系統と進化 1節生物の系統2節生物の系統分類～4節人類の出現と変遷	授業のノート　問題集 中間考査
	6	2編生命現象と物質　1章細胞と物質 1節細胞を構成する成分～6節生命現象とタンパク質 2編　2章代謝とエネルギー　1節代謝とエネルギー～4節光合成	
	7	3編遺伝情報の発現と発生　1章遺伝情報とその発現 1節DNAの構造～6節遺伝情報の変化	授業のノート　問題集 期末考査
2	9	3編　2章発生と遺伝子発現 1節原核生物の遺伝子発現の調節～7節動物の形と調節遺伝子の発現 3編　3章遺伝子を扱う技術　1節遺伝子を増幅する技術～4節遺伝子や細胞を扱う技術の問題	
	10	４編生物の環境応答　１章動物の刺激の受容と反応 1節刺激の受容から反応の流れ～７節効果器 ４編　２章動物の行動　１節動物の行動とは～３節学習のしくみ	授業のノート　問題集 中間考査
	11	４編　３章植物の環境応答　１節被子植物の植生と発生～９節器官の離下と脱落のしくみ ５編生態と環境　１章個体群と生物群集 １節生態系から見た生物～６節生物群集の成り立ちと多種の共存	
	12	５編　２章生態系の物質生産と物質環境 １節食物網と物質生産～２節生態系の物質収支と生態ピラミッド ５編　３章生態系と人間生活　　１節生物多様性～２節人間社会の変化と生態系	授業のノート　問題集 期末考査
3	1	５編　３章生態系と人間生活 ３節生態系の復元～４節人間は自然とどう付き合っていったらよいか	
	2		
	3		

3．評価の観点

知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	生物の問題を見いだし、科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

4．学習状況の評価方法

定期試験や授業・課題への取り組みに基づき，知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度の各観点を考慮し，総合的に評価する。

5．担当者からのメッセージ

「生物基礎」の発展から、より詳しい内容を学びます。授業時数も多く、学ぶ量も多いため予習、復習を心がけましょう。問題集で理解しているかを確認します。